

汚水処理整備計画（アクションプラン）

【汚水処理整備計画とは】

汚水処理施設整備計画（アクションプラン）は、将来の人口減少等の社会情勢の変化を踏まえ、国土交通省、農林水産省、環境省の3省により平成26年1月に作成された「持続的な汚水処理システム構築に向けた都道府県構想策定マニュアル」に基づき、未整備地区における汚水処理を早期に完了させることを目指し、その実現のために策定する計画です。

本市の汚水処理施設整備計画（アクションプラン）は、2021年度から下水道整備工事に着手し、「汚水処理整備区域図」の赤色で示した区域について、2026年度末までに国の交付金を活用し整備を進める計画です。

その後、2030年度末までに、黄色で示した区域を整備する予定です。

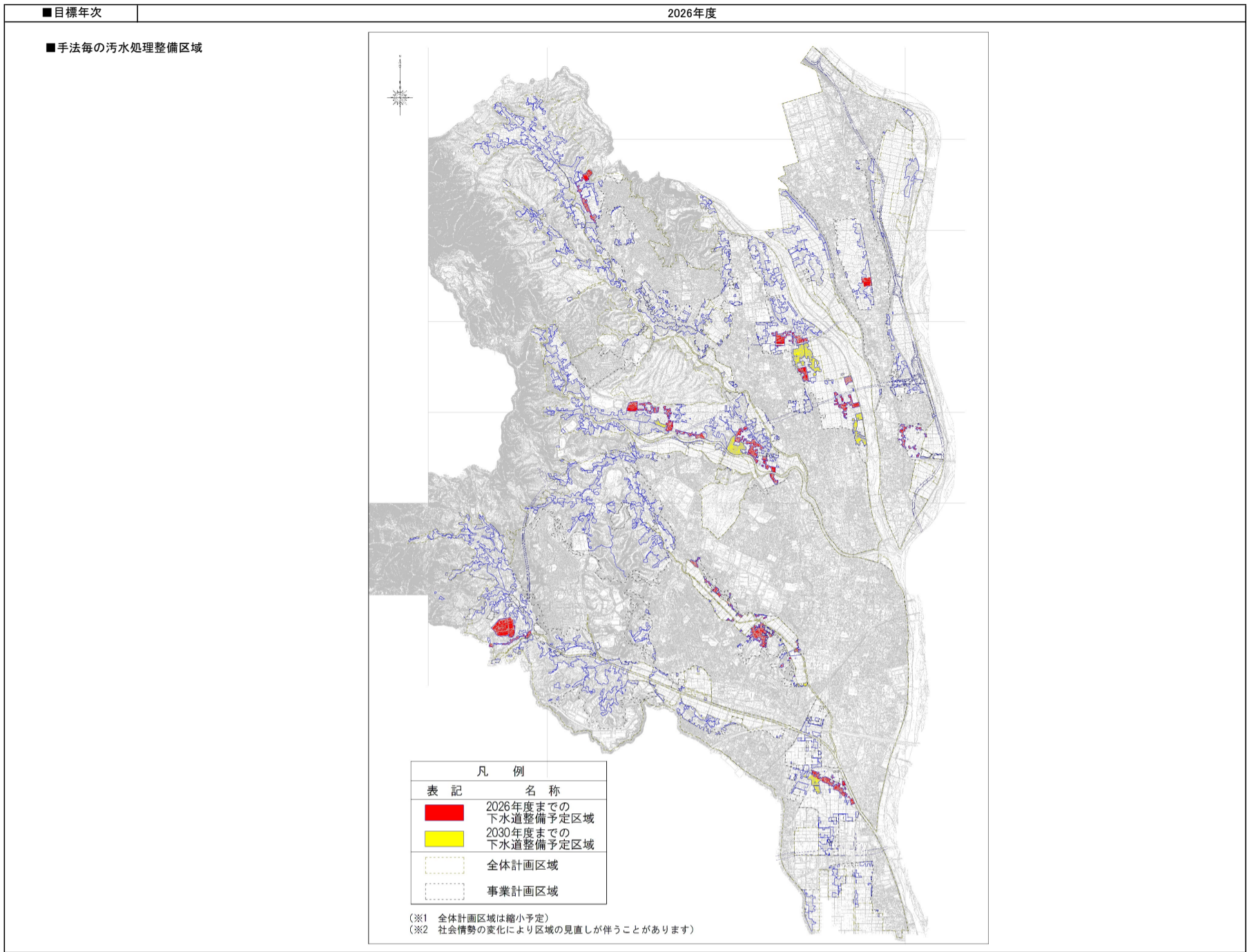
【神奈川県生活排水処理施設整備構想】

汚水処理施設整備は、市町村が下水道、合併処理浄化槽等それぞれの汚水処理施設の有する特性、経済性等を総合的に勘案し、地域時の実情に応じた効率的かつ適正な整備手法を選定した上で、都道府県が主体となり、市町村と連携して作成する「都道府県構想」に基づき適切な事業を実施しています。

神奈川県的生活排水処理構想は、公共用水域の汚水負荷を軽減するため、平成9年3月に「神奈川県生活排水処理施設整備構想」が策定され、その後平成16年3月、平成23年2月に改訂されました。

今回の改訂は2019年を予定しており、本市の「汚水処理施設整備計画（アクションプラン）」を反映し、下水道及び合併処理浄化槽の双方の処理において、2030年度までに生活排水処理率100%を達成することを目標としており、これに向けて未整備区域の普及促進に取り組んでいます。

汚水処理整備区域図 アクションプラン



■整備計画

①整備スケジュール

計画区分	事業	事業内容	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
			2017 (平成29)年度	2018 (平成30)年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
施設整備	下水道	未整備地域の整備										
	浄化槽	合併処理浄化槽の促進										
実行メニュー (早期概成)	下水道	期間短縮手法による整備の実施										
	浄化槽	合併処理浄化槽設置事業費補助金										

②目標値及び概算事業費等

		全体	公共下水道	集落排水 施設	浄化槽		その他	早期概成手法	備考 (早期概成手法の内容)
					個人 設置型	市町村 設置型			
整備手法	整備人口(人)	5,727	3,015		2,712			[下水道]下水道の期間短縮手法による整備の実施(道路線形に合わせた施工+小型マンホールの採用) [浄化槽]合併処理浄化槽設置事業費補助金	未整備地区である市街化調整区域等は、既整備区域に隣接する既存集落であることから、事業計画との整合を図り流域関連公共下水道として整備する。また、整備手法は低コスト整備手法であるクイックプロジェクト手法等を活用しながら、コスト削減対策及び工期の短縮を図り早期に未整備地区を解消する。
	整備面積(集合処理分)(ha)	74	74						
目標値	汚水処理人口普及率(%)	98.2%	93.4%		4.8%				
	整備率(%)								
計画水量(m ³ /日)		82,617	82,617						
計画汚泥量(t/日)		-	-						
概算事業費	総建設事業費(百万円)	4,087	3,150		937				
	年間維持管理費(百万円/年)	147	147						
整備人口1人当たりの建設費用(千円/人)			1,045						
実施メニュー	期間短縮手法による整備の実施		○						
	合併処理浄化槽設置事業費補助金		○						